

1996年変革期における看護管理の課題に関する調査

※調査票は全部で16ページあります。該当する項目に○をつけ、 内には該当する数字または文字をご記入下さい。
 ※調査票は、特に期日・期間の指定のない項目については1996年10月1日現在のこととしてご記入下さい。
 ※11月1日現在の状況が不明の場合は、直近の値でご回答いただいても結構です。

《病院の概要》

問1【病院の属性】

(1) 病院の所在地 都・道・府・県

(2) 病院の設置主体

- | | | | | |
|----------|------------------|----------------|--------------|--------------|
| 1 国立病院 | 2 国立療養所 | 3 国(文部省) | 4 国(労働福祉事業団) | 5 国(その他) |
| 6 都道府県 | 7 市町村 | 8 日赤 | 9 済生会 | 10 北海道社会事業協会 |
| 11 厚生連 | 12 国民健康保険団体連合会 | 13 全国社会保険協会連合会 | 14 厚生年金事業振興団 | |
| 15 船員保険会 | 16 健康保険組合及びその連合会 | 17 共済組合及びその連合会 | 18 国民健康保険組合 | |
| 19 公益法人 | 20 医療法人 | 21 学校法人 | 22 会社 | 23 その他の法人 |
| | | | | 24 個人 |

(3) 許可病床数・在院患者数

許可病床数 床

在院患者数(11月1日0時現在・新生児を含む) 名

(4) 外来患者数(1996年10月27日から11月1日までの1週間について、診療時間外の外来患者も含む)

人 この間の外来診療実日数 日(救急外来は除く)

(5) 病院の特徴

※貴病院は主としてどのような患者を対象としていますか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 精神病院 | 2 結核またはらい療養所 |
| 3 主に老人を対象とする病院 | 4 主に障害児(者)や難病患者を対象とする病院 |
| 5 その他:主に()を対象とする病院 | 6 一般病院 |

※病院機能の面から見てどのような特徴を持っていますか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 単科を中心とした専門病院(科名:) | |
| 2 高度・専門医療を目的とした病院 | 3 総合病院 |
| 4 在宅療養者支援を中心に行っている病院 | 5 リハビリ専門病院 |
| 6 大学病院、もしくは特定機能病院 | 7 その他() |

(6)看護料・特定入院料等の届出状況 ※該当するものに○をつけ、内に数字を記入して下さい。

一般病床 A) ある→ B) ない	①新看護 <input type="checkbox"/> 対1看護 プラス <input type="checkbox"/> 対1看護補助 加算(A・B・なし) ②特3類のみ ③3類+特2類 ④特2類 ⑤特1類 ⑥基本看護 ⑦その他(1・2・3)種看護 上記看護料をとる病床数 <input type="text"/> 床 当日在院患者数 <input type="text"/> 人 平均在院日数(直近3ヵ月・小数点以下1位まで) <input type="text"/> . <input type="text"/> 日 ①救命救急入院料 ②特定集中治療室管理料 ③新生児特定集中治療室管理料 ④総合周産期特定集中治療室管理料 ⑤広範囲熱傷特定集中治療室管理料 ⑥緩和ケア病棟入院料 ⑦特殊疾患療養病棟入院料
療養型病床群 A) ある→ a) I群 b) II群 B) ない	①新看護 <input type="checkbox"/> 対1看護 プラス <input type="checkbox"/> 対1看護補助 加算(A・B・なし) ②I群基本1類看護 ③I群基本2類看護 ④I群基本3類看護 ⑤II群基本看護 ⑥特定看護 ⑦その他(1・2・3)種看護 ⑩一般病棟と合わせ届け出(複合病棟を含む) I群入院医療管理料 ①I ②II ③III ④IV ⑤V ⑥VI ⑦VII II群入院医療管理料 ①I ②II ③III ④IV
精神病床 A) ある→ B) ない	①新看護 <input type="checkbox"/> 対1看護 プラス <input type="checkbox"/> 対1看護補助 加算(A・B・なし) ②特2類 ③特1類 ④基本1類看護 ⑤基本2類看護 ⑥基本看護 ⑦その他(1・2・3)種看護 ⑧精神科急性期治療病棟入院料(A・B) ⑨精神療養病棟入院料(A・B) ⑩老人性痴呆疾患治療病棟入院料 ⑪老人性痴呆疾患療養病棟入院料
結核病床 A) ある→ B) ない	①新看護 <input type="checkbox"/> 対1看護 プラス <input type="checkbox"/> 対1看護補助 加算(A・B・なし) ②特2類 ③特1類 ④基本1類看護 ⑤基本2類看護 ⑥基本看護 ⑦その他(1・2・3)種看護 ⑧一般病棟と合わせ届け出
老人病床 A) ある→ B) ない	①基本看護②特例看護③その他看護(1~11)④その他の看護⑤重点指導 老人病棟入院医療管理料 ①I ②II ③III ④IV

問2【病棟配置看護要員数】

	看護婦・士	准看護婦・士	看護補助者(介護職員)
病棟勤務者総数	名	名	名
再掲:一般病棟勤務者	名	名	名

※上記の「再掲:一般病棟勤務者」の欄は、前問の『問1g)「看護料・特定入院料等の届出状況』で「看護料」を算定する一般病棟が「ある」と回答した病院のみが記入してください。院内の病棟が「看護料」を算定する一般病棟のみである病院は、上記の「病棟勤務者総数」と「再掲:一般病棟勤務者」の数値は同じものとなります。

※「看護婦・士」には保健婦・士、助産婦を含みます。病棟棟長を含めた人数を記載してください。

※手術室及び特定入院料をとる集中治療室等の配置要員は除いてください。

※勤務時間が常勤の職員と比べて短いパートタイマー・アルバイトなど及び病棟以外(ここでは外来・手術室・特定入院料

1996年11月
(社)日本看護協会調査研究課

をとる集中治療室等・訪問看護部門などを指します)との兼務者は、病棟に勤務した時間を比例計算し、小数点以下第1位まで記載してください。たとえば常勤職員の週所定労働時間が40時間である場合、週2.4時間病棟に勤務する者は
 $2.4 \text{ (時間)} \div 4.0 \text{ (時間)} = 0.6 \text{ (人)}$ として、勤務者数に加えます。

問3【病院がめざす方向及び看護部の課題】

(1) 貴病院は次に挙げるような方向を目指していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 高度医療の拡充	2 入院期間の短縮
3 入院医療管理料(包括制料金)の導入	4 療養型病床群への転換、拡充
5 在宅支援機能(往診、訪問看護など)の充実	6 診療所との連携推進
7 複合的な医療福祉サービスの提供(老健、介護支援センターの併設など)	9 付添看護の解消
8 外来機能の拡充	12 わからない
10 その他()	
11 特に方向性はない	

(2) 現在看護部としてどのような課題を抱えていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 看護要員の確保・定着促進	2 看護職員定数を増やす	3 労働条件の改善
4 福利厚生への拡充	5 勤務体制の見直し	6 看護補助者(介護職員)の活用
7 他部門、他職種との連携推進	8 診療部門との調整	9 看護管理者の育成
10 経営面で看護部の発言力を高めること	11 看護関連の診療報酬の獲得	
12 入院期間の短縮	13 患者の退院先との連携強化	
14 退院計画作成、退院指導の実施・拡充	15 外来看護における療養相談の実施・拡充	
16 訪問看護の実施・拡充	17 ターミナルケアの充実	
18 インフォームドコンセントへの看護婦の関与促進	19 看護業務の見直し	
20 プライマリナーシング、受け持ち看護の導入・定着化	21 看護職の能力評価	
22 看護職の能力開発	23 専門看護師、認定看護婦(士)の活用	24 能力給の導入
25 その他()	26 特にない	

問4【ニーズの変化と看護業務】

(1) ベッドサイドケアを拡充するため、次のような取り組みをしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 業務の外注
2 看護補助者(介護職員)との業務分担の見直し
3 他職種との業務分担の見直し
4 申し送りの短縮
5 記録の簡素化
6 その他()
7 特に何もしていない

(2) 医療におけるインフォームド・コンセントの必要性が叫ばれていますが、治療方針に関するインフォームド・コンセントについて、貴病院の看護職は一般にどのように関わっていますか。

a) 医師の患者への説明に看護職も同席する。	1 原則として同席	2 場合によって同席	3 ほとんど同席しない
b) 患者への説明の前に医師、看護職、その他の職種でカンファレンスを行う。	1 原則として行う	2 場合によって行う	3 ほとんど行っていない
c) 医師の説明後、看護職が補足説明を行う。	1 原則として行う	2 場合によって行う	3 ほとんど行っていない
d) 患者・家族の理解度や納得の程度を確認する。	1 原則として行う	2 場合によって行う	3 ほとんど行っていない

(8) 貴病院では日本医療機能評価機構による評価を受ける用意がありますか。最も当てはまるも1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 すでに受けた |
| 2 病院としても看護部としても用意がある |
| 3 病院としてはそのつもりだが、看護部としては準備が出来ていない |
| 4 病院としてはそのつもりはないが、看護部としては受けたい |
| 5 病院としても看護部としてもそのつもりはない |
| 6 検討していない |
| 7 その他() |

→ SQ いつ頃受けるつもりですか

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| 1 出来るだけ早く | 2 2年以内 | 3 2年以上先 |
|-----------|--------|---------|

問5【患者の入院期間と退院に向けての看護職の取り組み】

※問1で一般病床が「A」ある」と回答された病院にお尋ねします。

(1) 一般病棟に3か月以上入院している患者はいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

SQ1 一般病棟に入院している患者のうち3ヵ月以上入院している患者は何人ですか 人→そのうち65歳未満の患者は何人ですか 人

SQ2 入院が長期化している理由は何ですか。

該当するものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|----------------------|---------|
| 1 疾患の特性による、病状が重い | 2 家族の受け入れが悪い、介護者がいない | |
| 3 施設入所待ち | 4 その他に受け入れる病院や施設がない | 5 通院が困難 |
| 6 患者が病院に依存 | 7 その他() | |

SSQ1 どのような病状、疾病ですか。該当するもの全てに○をつけて下さい。

- | | | | |
|-----------------|------------|----------------|----------|
| 1 脳内出血・脳梗塞 | 2 脊髄損傷 | 3 骨折・人工関節 | |
| 4 骨髄移植・臓器移植 | 5 悪性腫瘍 | 6 難病 | 7 重症心身障害 |
| 8 未熟児 | 9 透析を受けている | 10 経管栄養を施行している | |
| 11 人工呼吸器を装着している | 12 拘縮がある | 13 じょく創がある | |
| 14 その他() | | | |

(2) 患者の退院の決定に看護職はどのように関与していますか。該当するものすべてに○をつけてください

- | |
|----------------------------------|
| 1 医師だけで決定し、看護職はほとんど関与していない。 |
| 2 看護職が提供する患者情報をも考慮し、医師が決める。 |
| 3 医師、看護職、その他の職種を交えたカンファレンスで決定する。 |
| 4 実質的にはほとんど看護職の判断で決める。 |
| 5 その他() |

(3) 貴病院の看護職は入院患者の退院をスムーズするため、次のような取り組みをしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------------|---------------|------------------|
| 1 退院計画の策定 | 2 患者への退院指導の実施 | 3 家族への看護・介護指導の実施 |
| 4 退院時サマリーの作成・活用 | 5 退院前訪問指導の実施 | 6 訪問看護の実施 |
| 7 訪問看護ステーション、開業医、福祉関係者等との連携 | | |
| 8 その他 () | | |

(4) 退院の目標を患者・家族と共有する努力をしていますか

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1 おおいにしている | 2 まあまあしている | 3 ほとんどしていない |
|------------|------------|-------------|

問6【看護補助者(介護職員)の活用】

(1) 貴院において看護補助者(介護職員)は日常的に患者への直接ケアを担っていますか。

- | | | |
|------|-------|-------------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 看護補助者(介護職員)はいない |
|------|-------|-------------------|

→ SQ 看護方針を決定するカンファレンスに看護補助者(介護職員)は参加しますか。

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 1 必ず参加する | 2 場合によっては参加する | 3 まったく参加しない |
|----------|---------------|-------------|

※次の「問11」は、療養型病床群、ならびに老人病棟のうち基本看護、老人特例看護又は入院医療管理料を算定する病棟、老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院がお答え下さい。

問7【介護福祉士国家試験受験資格】

(1) 介護福祉士国家試験受験資格となる「業務経験」の範囲に、上記病棟における看護補助業務が追加されました。看護補助者(介護職員)に資格取得を薦めますか。

- | | | |
|-------|--------|-------------|
| 1 薦める | 2 薦めない | 3 どちらともいえない |
|-------|--------|-------------|

(2) 看護補助者(介護職員)は介護福祉士の資格取得を希望していますか

- | | | | |
|------------|------------|-----------|---------|
| 1 希望する人が多い | 2 希望する人もいる | 3 希望者はいない | 4 わからない |
|------------|------------|-----------|---------|

(3) 資格を取得したら、待遇上なんらかの配慮をしますか。

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 その予定である | 2 その予定はない | 3 わからない |
|-----------|-----------|---------|

問8【所定労働時間】

(1) 常勤の看護職員の週所定労働時間

週 時間 分

(2) 貴院では、常勤の看護職員の所定労働時間はすべて同じですか。それとも次の例のように就業規則などで複数の所定労働時間を定めていますか。

例：常勤看護職員Aコースの所定労働時間は週40時間、Bコースは週32時間で、それぞれに給与・有給休暇・退職金などが規定されている。A・Bいずれもいわゆる正職員で、原則として雇用期間の定め(6ヵ月・1年など)のある臨時職員・パートタイマーとは違う位置づけである。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 所定労働時間はすべて同じ | 2 複数の所定労働時間を定めている |
|----------------|-------------------|

問9【病棟夜勤体制】

(1) 病棟看護職員及び看護補助者(介護職員)の夜勤体制 ※該当するものすべてに○をつけてください

看護職員	1 3交代	2 変則3交代	3 2交代	4 当直
看護補助者	1 3交代	2 変則3交代	3 2交代	4 当直
	5 夜勤はしていない		6 病棟に看護補助者はいない	

(2) 夜勤時の看護職員用休憩室の設置状況

1 病棟内に設けている	2 病棟外に設けている	3 特に設けていない
-------------	-------------	------------

(3) 所定の休憩時間に休憩を取れない時、時間外(超過)勤務扱いとしていますか。

1 時間外勤務扱いとしている	2 時間外勤務扱いとはしていない
----------------	------------------

問10【長時間夜勤への対応】

※この問は、変則3交代制または2交代制(夜勤が1回10時間~16時間におよぶ体制)をとる病院がお答え下さい。それ以外の病院はこの問をとばして次の「問8」へ進んでください。

(1) 夜勤帯の実働時間と休憩時間

変則3交替の深夜勤： 拘束 時間 = 休憩 時間 + 実働 時間

2交替の夜勤： 拘束 時間 = 休憩 時間 + 実働 時間

(2) 変則3交替制又は2交替制導入にあたって、改善や工夫をされましたか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 夜勤手当の増額	2 所定労働時間の短縮	3 夜勤時間帯の業務の整理・改善
4 その他()	5 特にない	

(3) 変則3交替制又は2交替制の導入結果を看護部長としてどのように評価していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 申し送り時間の減少	2 患者の安心感の増加	3 看護職員の明け方の判断力低下
4 看護職員の慢性的疲労の減少	5 看護職員の慢性的疲労の増加	
6 看護職員の余暇時間の増加	7 看護職員の連続休暇の増加	
8 看護職員の超過勤務の減少	9 夜中の出退勤にともなう危険の減少	
10 病院の出費(夜勤手当、タクシー代など)の減少	11 病院の出費の増加	
12 その他()		

(4) 夜勤に就いている看護スタッフの評価はどうですか。

1 概して好評	2 概して不評	3 賛否両論がある	4 特に意見がない
---------	---------	-----------	-----------

<診療報酬の算定>

問11【夜間勤務等看護加算の算定】

(1) 今年の3月時点(診療報酬改定直前)で、「夜間勤務等看護加算」を算定していましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

(2) 現在「夜間勤務等看護加算」を算定していますか。

1 はい	2 いいえ	3 届出後受理の回答待ち
------	-------	--------------

→ SQ1 算定している加算の種類別に該当病棟数をお書き下さい。

加算種別	(I) a	(I) b	(I) c	(II) a	(II) b
看護単位数	単位	単位	単位	単位	単位

(3) 「夜間勤務看護加算」を算定するために、今年3月以降次のような対策を取りましたか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

※一部の看護単位についてのみ該当する場合も「該当する」とみなします。

1 当直制から交替制夜勤に変更
2 夜勤体制を変更(例: 3交替から2交替に)
3 勤務時間等を変更(例: 日勤開始時間を8:00から8:30に)
4 夜勤可能な看護職員の増員
5 看護補助者・介護職員を含む夜勤体制とする
6 夜勤人数を増やす(例: 2人体制から3人体制へ)
7 夜勤人数を減らす(例: 4人体制から3人体制へ)
8 早出・遅出勤務を導入または増やす
9 早出・遅出勤務を廃止または一部を削減
10 夜勤専従看護職員の導入または増員
11 従来夜勤をしていなかった中間管理者などに少数回の夜勤をさせる
12 病棟と病棟以外の部署(外来など)との兼務の廃止または一部を削減
13 看護単位の規模の縮小
14 看護単位の規模の拡大
15 小規模の結核・療養病棟を一般病棟と合わせた単位として届出をする
16 特に何もしなかった
17 その他 ()

(4) 現在の「夜間勤務看護加算」の算定要件、あるいは算定した結果をどのように評価しています。それぞれの項目についてご自分の考えに近いもの一つを選んで下さい。

a) 看護職員の夜勤負担の軽減に	1 つながった	2 つながっていない	3 どちらともいえない
b) 病棟毎の看護要員配置を柔軟に行うことが	1 容易になった	2 難しくなった	3 どちらともいえない
c) 夜勤体制を組むにあたって	1 概ね合理的に組めた	2 無理や無駄が生じた	3 どちらともいえない
d) 届け出のための計算は	1 難しくなった	2 しやすくなった	3 どちらともいえない
e) 病院収入(夜勤加算算定による収入増・減と支出増・減の差)は	1 増えた	2 減った	3 変わらない
f) 日勤帯以外の時間帯での看護サービスの質は	1 よくなった	2 悪くなった	3 どちらともいえない
g) 病棟配置の看護職員の増員に	1 つながった	2 つながらなかった	3 どちらともいえない
h) 夜勤体制の改善に向けた取組みを進める上で	1 プラスになる	2 マイナスになる	3 どちらともいえない

問 12【看護サービスとかかわりの大きい診療報酬の算定状況】

(1) 以下は看護職員によるサービスを評価した、あるいは看護職員配置とかかわりの大きい診療報酬点数です。貴病院でこれらの点数を最近3か月のあいだに算定したかどうかを、おわかりになる範囲でお答え下さい。

区分	診療報酬点数の名称	算定した	算定しなかった	わからない	該当しない
入院料	1 看護料の療養型病床群移行計画加算				
	2 看護料の付添看護解消計画加算				
	3 入院環境料の重症者等療養環境特別加算				
	4 入院環境料の院内感染防止対策加算				
	5 特殊疾患入院施設管理料				
	6 難病患者等入院診療料				
	7 超重症児(者)入院診療料				
指導管理等	8 在宅療養指導料・老人在宅療養指導				
	9 開放型病院共同指導料(Ⅱ)の退院時共同指導加算				
	10 在宅患者入院共同指導料(Ⅱ)の退院時共同指導加算				
	11 退院時指導料・老人退院時指導料				
	12 寝たきり老人退院時共同指導料(Ⅱ)				
	13 退院時リハビリテーション指導料・老人退院時リハビリテーション指導料				
	14 退院前訪問指導料・老人退院前訪問指導料				
15 診療情報提供料					
在宅医療	16 在宅患者訪問看護指導料・寝たきり老人訪問看護指導料				
	17 在宅患者末期訪問看護指導料・寝たきり老人末期訪問看護指導料				
	18 訪問看護指示料の退院時共同指導加算				
	19 在宅末期医療総合診療				
	20 退院患者継続訪問指導料				
	21 老人デイ・ケア料				
リハビリ	22 入院生活リハビリテーション料				
	23 心疾患リハビリテーション料				
	24 難病患者リハビリテーション料				
精神科専門療法	25 入院生活技能訓練療法				
	26 精神科デイ・ケア				
	27 精神科ナイト・ケア				
	28 精神科デイ・ナイト・ケア				
	29 精神科退院前訪問指導料				
	30 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)				
	31 精神科訪問看護・指導(Ⅱ)				
	32 重度痴呆患者デイ・ケア料				
	33 重度痴呆患者入院治療料				

(2) 過去3か月のあいだに入院時医学管理料の「入院治療計画加算」を算定した患者がいますか。

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

→ SQ 入院治療計画の作成に看護婦は関わっていますか。

1 ほとんどの場合作成に協力している
2 医師が主に作成しており、協力を求められた時のみ関わる。
3 医師のみが作成しており、まったく関わっていない。
4 その他 ()

問 13【情報交換とコンピューターの利用】

(1) 貴病院では病棟レベルの看護管理にコンピューターを利用していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 入退院管理	2 指示受け	3 勤務表作成	4 看護記録
5 看護計画やケアプランの作成	6 その他 ()		

(2) あなた自身はコンピューターを利用していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 職場で利用している	2 自宅で利用している
3 職場でも自宅でも利用している	4 利用していない

SQ 今後コンピューターを購入する意志はありますか。

1 職場で購入したい	2 自宅に購入したい
3 職場でも自宅でも購入したい	4 購入するつもりはない

(3) あなたはインターネットなどのコンピューターネットワークを利用していますか。

1 職場で利用している	2 自宅で利用している
3 職場でも自宅でも利用している	4 利用していない

SQ 今後インターネットなどを利用する意志はありますか。

1 職場で利用できるようにしたい	2 自宅で利用できるようにしたい
3 職場でも自宅でも利用できるようにしたい	4 利用するつもりはない

(4) インターネットを利用して、看護管理上必要な情報提供サービスを受けたり、情報の交換ができるしくみがあれば、参加したいですか。

すでにインターネットを利用できるので、今すぐにも参加したい *よろしければ、電子メールのアドレスをお教え下さい。 () @ ()
2 インターネットを利用できるようになったら、参加したい。
3 参加するつもりはない。

(5) あなたは看護管理を行う上で収集したり交換したい情報がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1 診療報酬	2 保険医療施策の動向	3 雇用に関する動向	4 研修・学会情報
5 看護提供システムについての最新情報	6 講師・アドバイザー等の人材情報		
7 他病院の新しい試み	8 文献検索		
9 その他 ()	10 特にない		

1996年11月
 (社)日本看護協会調査研究課

(6) 今後、病院間の情報交換が大切になってくると思いますが、もし、見学や研修の受入を依頼した場合、受け入れてもよいと思われますか。受け入れてもよいと思われる方は病院名と連絡先をお書き下さい。

1 受け入れてもよい	病院名： 連絡先：
2 受け入れられない	
3 即答できない	

問 14 【看護部長の属性】

あなたご自身についてお尋ねします。

※看護部長（総婦長）をおいていない病院の場合あなたの職位を記入してください

（ 職位： _____ ）

- (1) 性別 1 女性 2 男性
- (2) 年齢 歳
- (3) 看護部長（総婦長）としての経験年数 年 ※6ヵ月未満は0としてください
- (4) 今の病院での看護部長（総婦長）としての経験年数 年
- (5) 看護管理者になるための研修を受けたことがありますか

1 ある	2 ない	→ 研修が必要と思いますか	
↓		1 はい 2 いいえ	
SQ どの研修ですか			
1 看護協会	2 その他 (_____)		

(6) 病院全体の経営方針を議論し決定する場に参加していますか。

1 正式メンバーとして参加している	2 オブザーバーとして参加している		
3 その他 (_____)	4 参加していない		

→ SQ 副院長あるいは理事として任命されていますか

1 はい (1 副院長 2 理事 3 副院長であり理事)	2 いいえ
--------------------------------------	-------

※お差し支えなければお名前と所属をご記入下さい。外部に公表することはございません。本調査の結果のニュースレター等をお送りする際や、今後一部の項目について追加調査の必要が生じた場合等の名簿として活用させていただきたく存じます。

— 調査票はこれで終わりです。長い間ご協力ありがとうございました —